

モリコロパークの隣で考えるアントレプレナーシップ教育

Report

Report Day 2

2025年10月25日（土） 9:00～17:00

AI・ロボットの最新技術を体験する

会場

愛知県立大学 次世代ロボット研究所（R棟）

オリエンテーション

- ・ 愛知県立大学で研究・開発している
ロボット・AIのデモ及び技術説明
- ・ 生徒と共に学ぶ学習ロボット
- ・ 対話型ヒューマノイド型ロボット
- ・ 自律型サッカーロボット
- ・ 人間支援ロボット
- ・ 3Dセンシング環境

企業の最新ロボットのデモ及び
技術説明

グルー・ブディスカツ・ション
本日の見学で気づいた点（面白い
素晴らしいと感じた点、もの足り
ないと思つた点等）について話し
合つた。



STEP 1

愛知県立大学で研究・開発しているロボット・AIのデモと技術説明

愛知県立大学でAIやロボットの研究開発に携わっている大学生たちから、各ロボットの開発目的、活用意図、技術説明等を受け、デモンストレーションを見学してもらった。生徒の学習をサポートする共同学習ロボット、対話型ヒューマノイドロボット、自律型サッカーロボット、自走して物を運ぶ人間支援ロボットを見せてもらった後、3Dセンシング環境とこれに伴う館内設備について教えてもらった。

6

企業の最新ロボットのデモと技術説明

最新ロボットに使われている技術を丁寧に説明してもらったほか、起業し、ビジネスを続けるために必要な情報を提供してもらった。また、ロボットに触れ、動かすという体験もさせてもらった。

●自動枝打ちロボット

林業の入手不足解消を目的に開発された、樹木に登り、自動で不要な枝を切り落してくれるロボット。技術的にはすばらしいロボット。計画通りに販売が伸びていないが、その理由・原因等を伝えてもらうことで起業や会社運営の厳しさを認識してもらった。

● “人と同じように掴める”触覚内蔵ハンド

ロボットの指先に搭載した視触覚センサーで対象物を正確に認識し、柔らかいものでも持てるようにした高度な技術。食品業界の人手不足という社会課題解決に貢献しており、ビジネス展開を考える機会となった。

● 遠隔操作による人協働ロボット

目前のロボットと遠方のロボットを通信でつなぎ、二つの動きをリンクさせる技術。PC画面で遠方のロボットが意図通りに動くことを確認。ロボット単体以外にも技術の進歩があることを感じてもらった。

STEP
3

グループディスカッション

講義とデモの中で、面白い、素晴らしいと思った点、物足りないと感じた点等をグループで話し合ってもらった。技術力の高さと繊細さに驚いた、社会課題の解決はやりがいがありそう、等の声があがっていた。